資料編

1　市町村の振興計画等一覧

2　部門別の各種計画一覧

3　「とちぎ元気プラン」の策定経過

4　栃木県総合計画懇談会

5　県民意見の反映等

用語索引

1 市町村の振興計画等一覧（1）

市町村名	計画の名称【副題】	計画期間(年度)	将来像	
宇都宮市	第4次宇都宮市総合計画 【夢ある中核市へ　新世紀ゆうプラン】	H 9～H22	ひとに活力　まちに魅力　未来へ羽ばたく つどいの都うつのみや	
足利市	第6次足利市総合計画	H18～H27	歴史と文化を育み　ひとが輝く都市（まち）　あしかが	
栃木市	栃木市都市経営計画	H18～H27	「いつまでも、この街で暮らしたい」と心から思えるまち	
佐野市	佐野市・田沼町・葛生町 新市建設計画	H16～H26	育み支え合うひとびと、水と緑と万葉の地に広がる 交流拠点都市	
鹿沼市	新市建設計画 【かぬま・あわの新市まちづくりプラン】	H17～H27	『人と自然とが共生し、そこに生活する一人ひとりが、健康で心豊かな生活を送るとともに、活力ある産業を育て、将来にわたり、持続的発展の実現をめざす、明るく元気なまち』	
日光市	今市市・足尾町・藤原町・栗山村・日光市 新市建設計画 【四季の彩りに　風薫る　ひかりの郷】	H17～H27	自然と歴史と産業が響き合う　こころ豊かな輝く未来へ	
小山市	小山市総合計画	H18～H22	夢　きらめき　大地　笑顔 みんなでつくる　ふるさと小山	
真岡市	市勢発展長期計画 【市民だれもが“ほっと”できるまち…真岡】	H18～H27	「真岡に生まれ、育ち、働き、本当に住んでよかった。真岡に移り住んでよかった」とだれもがそう思える“安らぎと潤い”に満ちあふれたまち。	
大田原市	新市建設計画	H17～H27	住む人が輝き　来る人がやすらぐ　幸せ度の高いまち	
矢板市	21世紀矢板市総合計画改定後期計画	H18～H22	～人・郷土・産業が調和した　つつじの郷・やいた～	
那須塩原市	黒磯市・西那須野町・塩原町 新市建設計画	H16～H26	人と自然がふれあう やすらぎのまち 那須塩原	
さくら市	さくら市第1次振興計画　＊	H18～H27	自立する都市 まちの基本は「ひと」・「地域」	
那須烏山市	新市建設計画	H17～H26	「自然」と「やさしさ」と「知恵」を育む、暮らしやすいまち ～活力とやすらぎの交流文化都市『那須烏山市』～	
下野市	下野市新市建設計画	H17～H27	思いやりと交流で創る　新生文化都市	
上三川町	上三川町第6次総合計画　＊	H18～H27	より安心・安全で活力のあるまち　上三川　＊	
上河内町	第5次上河内町総合計画	H13～H22	人が輝き　こだまがかえる　すてきな町　かみかわち	
河内町	河内町総合計画　＊	H18～H27	（公募中）	

注1）合併後、振興計画がまだ策定されていない市町については、新市・新町建設計画を記載
注2）計画策定中の内容については＊を付けています。
注3）日光市は、平成18年3月20日に合併予定

平成18年1月17日現在

今後5年間に重点的に推進する取組
1.次世代を担う子どもたちが、伸び伸びと育つ環境づくり　2.すべての市民が、健康で、安全・快適に、生き生きと暮らせる環境づくり 3.自然との共生、循環型の環境都市づくり　4.活気と賑わいのまちづくり、地域経済・地場産業の再生 5.市民協働のまちづくり、主体的な地域づくり
1.学び合い、人が輝くまちづくり（市民いきいきプログラム）：自学自習・市民活動 2.人が集い、産業が元気なまちづくり（まちのにぎわいプログラム）：シティセールス・雇用創出 3.安全・安心に暮らせるまちづくり（市民やすらぎプログラム）：子育て・健康医療・暮らし安心
1.“きずな”をむすぶ「市民協働のまちづくり」 2.“げんき”をうみだす「活力新生のまちづくり」 3.“こころ”をはぐくむ「互学共育のまちづくり」
1.地域の特色を生かした快適なまちづくり　2.やさしくふれあいのある健康福祉づくり 3.魅力と活力ある産業づくり　4.豊かな心を育む教育・文化づくり 5.市民みんなでつくる夢のあるまちづくり
1.活気ある市街地の構築　2.地域産業の振興 3.公共交通機関の機能充実　4.少子化対策の推進 5.特色ある教育の推進
1.保健・医療・福祉サービスの充実、歴史的・文化的遺産や自然環境・景観の保全（暮らし・環境） 2.広域的な交通ネットワーク整備や個性を生かした交流の推進（連携・交流） 3.次代を担う人材の育成や市民と協働のまちづくりの推進、観光をはじめとした産業の振興（成長・発展）
1.豊かで活気があり暮らしやすい小山づくりに向けた「人口増加・定住化促進プロジェクト」 2.小山の地域資源を活かして北関東の拠点都市形成に向けた「オンリーワン・おやまブランド推進プロジェクト」 3.市民と行政との協働のまちづくりに向けた「市民協働・市民活動推進プロジェクト」　＊
1.健康と福祉のまちづくり：(仮称)「真岡市健康21プラン」の策定　2.教育のまちづくり 3.産業の振興による活力に満ちたまちづくり：北関東自動車道IC周辺開発事業の推進　4.安全・安心のまちづくり：防災行政無線の更新・増設 5.人と自然が共生する環境都市づくり　6.市民と協働のまちづくり：ボランティア団体・NPO等への支援
1.明日に伝える文化と学びのまちへ　2.健康と生きがいに満ちた福祉と医療のまちへ 3.自然と共生していくまちへ　4.活力みなぎる豊かな産業のまちへ 5.人にやさしい快適なまちへ
1.一人ひとりと文化が輝くまちづくり:生涯学習推進体制の確立、教育環境の整備･充実 2.健康で幸せに暮らせるまちづくり:健康づくり拠点施設の充実、子育て支援機能の充実 3.すぐれた定住基盤をそなえたまちづくり:広域交流基盤の確保、道路整備の推進 4.にぎわいと発展する産業のまちづくり:企業立地の促進　5.市民と行政が一体となったまちづくり:地域活動の育成支援、財政健全化計画の推進
1.恵まれた自然環境と共に生きるまち　2.様々なライフスタイルの住民が安心して快適に暮らせるまち 3.人と文化を育む、ふれ合いと交流のまち　4.フロンティア精神を発揮し新たな活力を創造するまち 5.将来に向けた礎（社会資本）を備えたまち
1.自立した協働のまちづくり　2.安全安心なまちづくり 3.人を育むまちづくり　4.豊かさと活力のまちづくり 5.機能的で快適なまちづくり　6.緑豊かで秩序あるまちづくり
1.合併後の旧町意識を早急に解消し、那須烏山市としての一体感の醸成を図るための事業 2.那須烏山市の均衡ある発展や一体性の速やかな確立を図るための施設及び都市基盤等の整備に係る事業 3.建設計画における「公共施設の適正配置･整備」に係る事業　4.合併協定項目の調整方針を具現化するための事業 5.財政基盤の強化及び行政の簡素化･効率化に係る事業
1.都市と田園が共生する快適な環境で躍進するまちづくり　2.安心して暮らせる健康で明るいまちづくり 3.みんなで学び文化を育むふれあいのまちづくり　4.豊かな自然と調和した快適で安全なまちづくり 5.知恵と意欲で創造性豊かなまちづくり　6.住民と行政の協働による健全なまちづくり
1.人々が集う快適な生活環境・基盤のまち　2.だれもが元気になる健康福祉のまち 3.人が輝き文化が香る教育文化のまち　4.活力に満ちた元気産業のまち 5.ともにつくる協働・自立のまち　＊
1.美しい環境と住みよいまちづくり【地域基盤の整備】　2.健康に暮らせるやすらぎのあるまちづくり【保健福祉の充実】 3.心豊かでいきいき暮らせるまちづくり【教育･文化･スポーツの振興】　4.明日を拓く産業が展開するまちづくり【地域経済の振興】 5.ともに活躍するまちづくり【構想の推進】
1.河内で学び、ふれあい、成長し、まちを支える人を育てる　2.互いに支え合い、だれもが安心・安全に暮らせる地域を育てる 3.自然の豊かな恵みを受けて、人にもやさしい町を育てる　4.地域経済が循環し、持続する力をもった産業を育てる 5.住民と町の創意と工夫で、協働のまちづくりを育てる　＊

1　市町村の振興計画等一覧（2）

市町村名	計画の名称【副題】	計画期間(年度)	将来像	
西方町	第4次西方町振興計画	H13～H22	美しく活力のある田園文化都市　にしかた	
二宮町	二宮町第五次総合振興計画 【安らぎと充足の田園居住空間　にのみや】	H18～H27	・三つの川がもたらす豊かな恵み ・安らぎと充足 ・田園居住空間　にのみや	
益子町	益子町第5次総合振興計画　＊	H18～H27	「創造の器」に未来かがやく益子町 ～みんなで築く　手づくりのまち～　＊	
茂木町	もてぎシャインズ 【自然が輝く・人が輝く・地域が輝くまちづくり】	H13～H22	自然が輝く、人が輝く、地域が輝く、そしてまちが輝く	
市貝町	第5次市貝町振興計画 【～暮らしいきいき　心やすらぐ 躍進の町いちかい～】	H18～H27	高齢者も障害者も、子どもたちもいきいきと、 安らぎを感じながら笑顔で生活ができるまち	
芳賀町	第5次芳賀町振興計画	H18～H27	みんなで創る　やすらぎと豊かさに満ちたまち　芳賀	
壬生町	壬生町第5次総合振興計画	H18～H27	活力と創意が生きる希望に満ちたまち・みぶ	
野木町	新野木21計画 【元気の出るまち・野木町　＊】	H13～H22	水と緑と人の和でうるおいのあるまち	
大平町	大平町第5次総合振興計画	H13～H22	健康で生きがいのもてるまち大平	
藤岡町	藤岡町第4次町勢振興計画	H13～H22	ハートにアクセス ー人と自然が出会う町・ふじおかー	
岩舟町	第5次岩舟町振興計画	H18～H27	心豊かに安心して暮らせる やさしい自然と文化のまち“元気な岩舟”	
都賀町	第5次都賀町振興計画	H18～H22	心豊かで優しさに満ちた住みよいまち・つが	
塩谷町	キラリしおや21プラン 【清らかな水、光ふりそそぐ緑豊かな大地 キラリかがやくしおや21】	H13～H22	心豊かな地域社会の実現、新しい時代に対応した産業の振興、 計画的な都市づくり	
高根沢町	高根沢町地域経営計画2006　＊ 【第5次高根沢町振興計画】	H18～H27	安心して暮らせる地域社会をつくる 持続的に成長できる仕組みをつくる	
那須町	第6次那須町振興計画	H18～H27	緑と活気にあふれ心ふれあうまち	
那珂川町	那珂川町新町建設計画	H17～H26	1.地方分権に対応した行財政改革と住民自治が確立したまち 2.人やものが安全でスムーズに行き交うまち 3.豊かな自然のなかで誰もが健康で生活できるまち 4.魅力ある歴史文化資源のネットワークにより人がにぎわうまち	

注1）合併後、振興計画がまだ策定されていない市町については、新市・新町建設計画を記載
注2）計画策定中の内容については＊を付けています。

平成18年1月17日現在

今後5年間に重点的に推進する取組
1.「協働のまちづくり」の推進　2.企業誘致の推進と「道の駅」を核とした賑わいのあるまちづくり 3.行政改革の推進　4.子育て支援と高齢者の生きがい対策　5.国際感覚をはぐくむ教育の推進
1.町民一人ひとりが個性を発揮できる町にします。　2.安心と安全を支える基盤と住民サービスを充実します。 3.豊かな居住環境を次世代へ継承します。　4.いきいきとした住民活力の創造を支援します。 5.行財政改革を推進します。
1.環境共生「益子スタイル」の確立：町のめざすべき環境像の実現に向け、先導的役割でふるさとの川再生、ごみダイエット、里山保全を町民、事業者、町が協働して推進 2.「ましこの学び」と焼きもの観光の融合：町の特性を活かすため、観光客を対象とした体験メニューの受け皿を確保し、生涯学習と観光振興を協働で取り組み、個性ある魅力的なまちづくりの推進　＊
1.自然と人との共生をめざす総合ネットワーク事業…町民主体の活力ある地域づくりと循環型社会の確立 2.地域情報総合ネットワーク事業…ITC基盤の整備と公共アプリケーションの展開 3.開かれたまち・交流のための総合ネットワーク事業…個性と魅力にあふれる地域間交流の促進
1.保健・福祉の充実に全力で取り組みます　2.農商工のさらなる振興を推進します 3.快適な地域、住環境の整備を目指します　4.青少年の健全育成の強化を図ります 5.行財政改革のより一層の推進に取り組みます
1.町民それぞれが才能を開化させて大きく飛躍する町民主役のまちを実現 2.防災、防犯、医療、福祉等の充実を重視し、安全性に優れ安心感に満ちたまちを実現 3.田園と産業が調和し幅広い都市機能が充実した、品質の高いまちを実現 4.自然の力の積極的な活用や資源循環の仕組みづくりを進め、環境と共生したまちを実現
1.健全な地方自治の確立　2.いのちが輝く元気な地域社会の創造 3.調和のある元気なまちの創造　4.安心して快適に暮らすことのできる社会の実現 5.個性が輝き文化が薫る学びの社会の実現　6.活気に満ちた豊かで元気なまちの創造
1.安全・安心な暮らしやすいまちづくり　2.多世代が参画・交流し活力を創出 3.農業の活性化　4.商業（商店）等の賑わいの創出 5.地域コミュニティの活性化　＊
1.個性的でにぎわいのある交流ゾーンの形成　2.いきいき健康・福祉コミュニティの推進 3.快適な住宅市街地の形成　4.太平山南山麓広域交流拠点の整備 5.ともに考え、行動するまちづくり
1.行財政改革の推進　2.若者定住対策の推進 3.企業立地の推進　4.道の駅「みかも」を核とした産業の振興
1.住民と協働でつくるまちづくり…多様な主体がそれぞれの立場で「公共」を担う、協働システムの確立 2.子育て環境の充実…子育て支援センターと老朽化した保育所の施設整備及びソフト事業の展開 3.生活基礎基盤の整備…道路・下水道等の身近な生活基礎基盤の整備、上水道老朽管の敷設替え 4.未来の人と文化をはぐくむまちづくり…生涯学習の推進、学校教育、社会教育の充実
1.快適に暮らせるまちづくり　2.働きがいのある活力に満ちたまちづくり 3.健やかで優しさのあふれるまちづくり　4.心と体を育み学び合うまちづくり 5.未来を見据えた堅実なまちづくり
1.合理的な行財政運営と住民参加のまちづくり　2.自然と人の共生環境づくり 3.農林業の振興　4.保健・医療・福祉が連携した安心して生活できるまちづくり 5.計画的なまちづくり
1.行政体質改善プロジェクト　2.協働に関するプロジェクト 3.中心市街地活性化プロジェクト　4.食育、地産地消プロジェクト
1.緑と伝統を活かす　まちづくり 2.やすらぎと心ふれあう　まちづくり 3.豊かな暮らしと活気のある　まちづくり
1.行財政改革の強力な推進　2.地域高度情報化の推進 3.豊かな自然との共生推進　4.健康、医療、福祉、少子高齢化対策の充実 5.安全で快適な都市基盤の整備・充実

2　部門別の各種計画一覧

基本目標	政策名	部門計画名	期間	担当部局名
基本目標1	政策11	多様な能力をはぐくみ、心豊かでたくましい青少年を育成する		
		とちぎ教育振興ビジョン	H18～22	教育委員会
		とちぎ青少年プラン	H18～22	生活環境部
	政策12	生きがいとうるおいに満ちた人生を実現する		
		とちぎ教育振興ビジョン	H18～22	教育委員会
基本目標2	政策21	一人ひとりを尊重し、共に参画する社会を築く		
		栃木県人権施策推進基本計画	H18～22	生活環境部
		とちぎ男女共同参画プラン（二期計画）	H18～22	
	政策22	互いに支え合い、共に生きるあたたかな福祉社会を築く		
		栃木県次世代育成支援対策行動計画「とちぎ子育て支援プラン」	H17～21	保健福祉部
		栃木県高齢者保健福祉計画「はつらつプラン21（三期計画）」（仮称）	H18～20	
		とちぎ障害者プラン21	H15～19	
		栃木県地域福祉支援計画	H17～21	
	政策23	健やかで安心な生活を守る		
		とちぎ健康21プラン	H13～22	保健福祉部
		栃木県保健医療計画	H16～20	
		とちぎ食の安全・安心行動計画	H17～19	
基本目標3	政策31	魅力ある農林業を確立する		
		栃木県農業振興計画（仮称）	H18～22	農務部
		林業・自然ふれあいプラン（仮称）	H18～22	林務部
	政策32	知恵と技術による商工サービス業の振興と雇用の安定を図る		
		とちぎ産業振興ビジョン（仮称）	H18～22	商工労働観光部
基本目標4	政策41	快適で活力ある暮らしの基礎をつくる		
		栃木県生活排水処理構想	H16～	土木部
		とちぎの道づくりの基本方針	H15～19	
	政策42	魅力とうるおいのある生活空間をつくる		
		都市計画区域マスタープラン	H16～22	土木部
		栃木県住宅マスタープラン	H18～22	
		栃木県農業振興計画（仮称）	H18～22	農務部
		第4次栃木県緑化基本計画	H18～22	林務部
	政策43	にぎわいとときめきにあふれた地域社会をつくる		
		とちぎ産業振興ビジョン（仮称）	H18～22	商工労働観光部
		とちぎ国際化推進プラン（2006～2010）（仮称）	H18～22	生活環境部
		栃木県NPO等活動促進に関する基本方針	H14～	
		とちぎITプラン（Ⅱ期計画）	H18～22	企画部
基本目標5	政策51	豊かな環境を守り育て、地球にやさしい循環型社会を構築する		
		栃木県環境基本計画（改定計画）	H11～22	生活環境部
		栃木県廃棄物処理計画（改定計画）	H13～22	
		栃木県循環型社会推進指針	H15～	
		栃木県地球温暖化対策地域推進計画（改定計画）	H12～22	
		林業・自然ふれあいプラン（仮称）	H18～22	林務部
	政策52	安全な暮らしを守る		
		栃木県交通安全計画	H18～22	企画部
	政策53	災害・危機に強い県土づくりを推進する		
		栃木県地域防災計画（修正）	H17～	総務部
		栃木県危機管理計画	H16～	
		栃木県国民保護計画	H18～	

3 「とちぎ元気プラン」の策定経過

年 月 日	内 容
平成16年	
2月	「21世紀の“とちぎ”づくりに関する県民意向調査(5千人アンケート)」実施
4月27日	栃木県総合計画策定要綱制定・庁議決定
5月20日	栃木県総合計画懇談会設置要綱制定
5月	「栃木県の新しい総合計画に関する市町村長意向調査」実施
6月 1日	計画策定に関するホームページ開設
〃	新しい総合計画に関する意見・提言募集開始（平成17年8月末日まで）
6月 7日～ 7月 2日	公募委員募集
6月	平成16年度栃木県政世論調査実施
7月	「21世紀の “とちぎ” づくりに関する若者意向調査（高校生アンケート)」実施
10月6日	第1回栃木県総合計画懇談会開催
平成17年	
2月15日	第2回栃木県総合計画懇談会開催（第1次素案公表）
〃	第1回部会開催（5部会合同）
2月24日～ 3月31日	第1次素案に対するパブリック・コメント実施
3月19日～ 4月30日	“とちぎ” づくりの合言葉　栃木県のキャッチフレーズ募集
3月22、23日	第1次素案等に関する市町村との意見交換会（ブロック別）実施
3月	各種審議会委員等への「21世紀の“とちぎ” づくりに関する提言」募集
5月 9日～13日	第2回部会開催
6月	平成17年度栃木県政世論調査実施
6月23日～ 7月 1日	第3回部会開催
10月19日	第3回栃木県総合計画懇談会（第2次素案公表）
〃	「栃木県のキャッチフレーズ」公表
10月24日～11月25日	第2次素案に対するパブリック・コメント実施
11月15、16日	第2次素案等に関する市町村との意見交換会（ブロック別）実施
平成18年	
1月17日	第4回栃木県総合計画懇談会開催（計画案公表）
2月15日	栃木県総合計画庁議決定・公表

4 栃木県総合計画懇談会

新しい総合計画の策定に当たって、栃木県総合計画懇談会を設置し、県内の学識経験者などから意見や提言をいただきました。

また、新しい総合計画の基本目標ごとに部会を設置し、専門的な事項を検討していただきました。

1）懇談会委員（50名）

（1）委員一覧　　（50音順　敬称略）

◎藤本　信義	宇都宮大学教授
○石井　晴夫	作新学院大学教授
飯塚みや子	公募委員
市川　秀夫	㈳栃木県経済同友会筆頭代表幹事
今泉　繁良	宇都宮大学大学院教授
上野　憲示	文星芸術大学学長
上野　通子	栃木県議会議員
牛山　　泉	足利工業大学大学院教授
臼井　佳子	栃木県教育委員会委員
加藤千佐子	作新学院大学女子短期大学部教授
金子　澄子	栃木県収用委員会委員
上西　朗夫	㈱下野新聞社代表取締役社長
川村万壽子	栃木県民生委員児童委員協議会副会長
伍井　邦夫	日本労働組合総連合会栃木県連合会会長
小高　猛男	栃木県議会議員
小林　雅彦	国際医療福祉大学助教授
齋藤　清衛	㈱とちぎテレビ代表取締役社長
佐藤　昌男	栃木県建設産業団体連合会会長（～平成17年9月）
柴　　恵子	㈳栃木県医師会常任理事
清水　英世	栃木県町村会会長（平成17年6月～）
神宮由美子	栃木県女性団体連絡協議会副会長
陣内　雄次	宇都宮大学助教授
菅谷　春美	日本労働組合総連合会栃木県連合会副会長
杉本　浩亮	宇都宮駅東自主防犯パトロール隊副隊長
鈴木　光尚	NPOコンソーシアム足利会長
高岡　真琴	栃木県議会議員
高橋　修司	栃木県議会議員
髙村　正勝	栃木県森林組合連合会理事
谷本　丈夫	宇都宮大学教授
鶴見智穂子	公募委員
豊田　　計	栃木県農業協同組合中央会会長
長門　芳子	いっくら国際文化交流会会長
名取喜久雄	㈳栃木県歯科医師会常務理事
新村　悦子	栃木県ユースホステル協会理事
半田　　昇	栃木県老人福祉施設協議会会長
廣川　允彦	前㈳栃木県観光協会会長
福田　富一	栃木県市長会会長（～平成16年10月）
藤井佐知子	宇都宮大学教授
船津　　祥	公募委員
前田　光弘	栃木県建設産業団体連合会会長代行（平成17年10月～）
増山　律子	㈱フジスタッフ代表取締役社長
八木澤昭雄	栃木県町村会会長（～平成17年5月）
簗　　郁夫	㈳栃木県商工会議所連合会会長
山岡美和子	栃木県市町村消費者団体連絡協議会会長
山田美也子	栃木県議会議員
吉澤由紀子	公募委員
吉谷　宗夫	栃木県市長会会長（平成17年1月～）
吉柴美奈子	公募委員
（専門委員）	
久米　良昭	那須大学教授
児玉　博昭	白鷗大学助教授
永井　　護	宇都宮大学教授
中村　祐司	宇都宮大学教授
和田佐英子	那須大学助教授

◎会長　○会長代理　　（役職名は平成18年1月現在、または委員退任時）

（2）部会の構成

①基本目標1（教育・文化等）

◎加藤千佐子	作新学院大学女子短期大学部教授
○藤井佐知子	宇都宮大学教授
上野　憲示	文星芸術大学学長
臼井　佳子	栃木県教育委員会委員
新村　悦子	栃木県ユースホステル協会理事
吉柴美奈子	公募委員
◇中村　祐司	宇都宮大学教授

②基本目標2（人権・保健・医療・福祉等）

◎小林　雅彦	国際医療福祉大学助教授
○柴　　恵子	㈳栃木県医師会常任理事
金子　澄子	栃木県収用委員会委員
川村万壽子	栃木県民生委員児童委員協議会副会長
神宮由美子	栃木県女性団体連絡協議会副会長
菅谷　春美	日本労働組合総連合会栃木県連合会副会長
鶴見智穂子	公募委員
名取喜久雄	㈳栃木県歯科医師会常務理事
半田　　昇	栃木県老人福祉施設協議会会長
◇児玉　博昭	白鷗大学助教授

③基本目標3（農林・商工サービス・労働等）

◎石井　晴夫　　作新学院大学教授
○市川　秀夫　　㈳栃木県経済同友会筆頭代表幹事
　伍井　邦夫　　日本労働組合総連合会栃木県連合会会長
　髙村　正勝　　栃木県森林組合連合会理事
　豊田　　計　　栃木県農業協同組合中央会会長
　船津　　祥　　公募委員
　増山　律子　　㈱フジスタッフ代表取締役社長
　簗　　郁夫　　㈳栃木県商工会議所連合会会長
◇和田佐英子　　那須大学助教授

④基本目標4（社会基盤・観光・国際化等）

◎陣内　雄次　　宇都宮大学助教授
○鈴木　光尚　　NPOコンソーシアム足利会長
　佐藤　昌男　　栃木県建設産業団体連合会会長
　長門　芳子　　いっくら国際文化交流会会長
　廣川　允彦　　前㈳栃木県観光協会会長
　吉澤由紀子　　公募委員
◇永井　　護　　宇都宮大学教授

⑤基本目標5（環境保全・防犯・防災等）

◎牛山　　泉　　足利工業大学大学院教授
○谷本　丈夫　　宇都宮大学教授
　飯塚みや子　　公募委員
　今泉　繁良　　宇都宮大学大学院教授
　杉本　浩亮　　宇都宮駅東自主防犯パトロール隊副隊長
　山岡美和子　　栃木県市町村消費者団体連絡協議会会長
◇久米　良昭　　那須大学教授

◎部会長
○副部会長
◇専門委員

2）懇談会の開催経過

（1）懇談会

	開　催　日	内　容
第1回	平成16年10月 6日	栃木県の現状等に関する意見交換 資料　「総合計画の策定について」「“とちぎ”の概要」
第2回	平成17年 2月15日	第1次素案等に関する意見交換 資料　「新しい総合計画の策定に当たって」「第1次素案」
第3回	10月19日	第2次素案に関する意見交換 資料　「総合計画懇談会部会における主な意見」「第2次素案」 栃木県のキャッチフレーズ公表
第4回	平成18年 1月17日	「最終案」に関する意見交換 資料　「最終案」

（2）部会

	開　催　日	内　容
第1回 （合同部会）	平成17年 2月15日	政策評価制度等に関する意見交換
第2回	5月 9日 ～13日	政策分野ごとの現状や今後必要となる施策の展開方向等に関する意見交換
第3回	6月23日 ～ 7月 1日	「新しい総合計画における施策の展開方向等について（第2次素案検討案）」に関する意見交換

懇談会

部会

5　県民意見の反映等

1）21世紀の“とちぎ”づくりに関する県民意向調査（5千人アンケート）

県民の方々が“とちぎ”の現状をどう捉え、将来をどのように思い描いているのかを把握するため、アンケート調査を実施しました。

〇実施時期　平成16年2月
〇対　　象　20歳以上の県民5,000人（回答　2,286人）
〇調査項目　生活の関心事、望ましい「“とちぎ”の姿」、“とちぎ”の現状に対する評価と行政の取組の必要性、“とちぎ”づくりへの参加意向など

2）栃木県の新しい総合計画に関する市町村長意向調査

新しい総合計画の作成に当たり、県内市町村長の意向を把握するため、アンケート調査を実施しました。

〇実施時期　平成16年5月
〇対　　象　県内49市町村長
〇調査項目　望ましい「“とちぎ”の姿」、“とちぎ”の現状に対する評価と行政の取組の必要性、市町村の重点推進項目・特色ある地域づくりなど

3）21世紀の“とちぎ”づくりに関する若者意向調査（高校生アンケート）

これからの21世紀を担う高校生が描く本県の将来像を把握するために、アンケート調査を実施しました。

〇実施時期　平成16年7月
〇対　　象　県内高校2年生　1,051人
〇調査項目　“とちぎ”の現状評価、将来の居住意向、“とちぎ”の特色、望ましい「“とちぎ”の姿」、“とちぎ”づくりへの参加意向

4）21世紀の“とちぎ”づくりに関する提言

新しい総合計画策定に当たり、県行政に造詣が深く、各分野で高い見識を有する方々から、具体的な提言をいただきました。

〇実施時期　平成17年3月
〇提言者　　県の審議会及び委員会等の委員　80人
〇提言項目　各分野あるいは施策の中で、「特に力を入れて取り組んでいかなければならないこと」、「新たな視点から取り組んでいかなければならないこと」など

5）知事広聴事業における意見・提言の募集

県民の皆さんと知事とが県政の話題や地域の課題などについて話し合う「とちぎ元気フォーラム」（平成16年度は「とちぎふるさとづくりフォーラム」「ようこそ、知事です」）において、新しい総合計画に対する意見をいただきました。

(1) 平成16年度

〇「とちぎふるさとづくりフォーラム」（県全域の県民を対象、公募）

① 5月15日(土)　河内町　　② 6月19日(土)　日光市
③ 7月 3日(土)　喜連川町　　④ 8月 7日(土)　栃木市
⑤ 9月 4日(土)　野木町

〇「ようこそ、知事です」（開催市町村の県民を対象、市町村推薦）

① 5月27日(木)　小川町　　② 6月29日(火)　芳賀町
③ 7月22日(木)　二宮町　　④ 8月11日(水)　西那須野町
⑤ 8月25日(水)　塩谷町

(2) 平成17年度

〇「とちぎ元気フォーラム」（県全域の県民または大学生を対象、公募）

（地域版）① 5月28日(土)　藤原町　　② 6月19日(日)　上三川町
③ 7月10日(日)　益子町　　④ 8月27日(土)　足利市
⑤ 9月17日(土)　那須町　　⑥10月15日(土)　岩舟町
⑦11月26日(土)　矢板市　　⑧12月17日(土)　小山市
（大学版）① 6月 1日(水)　宇都宮大学　②10月13日(木)　国際医療福祉大学

6）その他広聴事業等による意見・提言の募集

市町村単位で県政に対する意見や要望をお伺いする「地域県政懇談会」、広報紙「とちぎ県民だより」に掲載する封書用紙、県のホームページから電子メールで県政全般に対する提案や意見を受け付ける「知事にアクセス」などにより、新しい総合計画に対する意見をいただきました。

また、県民の皆さんの県政に対する意識を把握するため、毎年実施している「県政世論調査」（県内の満20歳以上の県民2,000名対象）において、望ましい今後の方向や対策について意見をいただきました。

7）情報提供及び意見募集

インターネットに総合計画の策定過程をお知らせするホームページの開設、県域テレビの県政情報提供番組や各種広報紙、県職員が集会等の場に出向いて、県政についての説明等を行う「県政出前講座」などを活用し、新しい総合計画の考え方や策定の進捗状況を、随時情報提供するとともに、意見募集を行いました。

また、第1次素案と第2次素案についてパブリック・コメントを実施し、意見をいただきました。